

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 1 月 20 日 (15～16時)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	2人	1人	12人

前回の改善計画
初期支援に関しては、事前に個別計画を作成して大まかな方向性を決めて置き、十分な観察を行い見直しをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングや職員間の連絡ノートを活用する事によって職員間の情報の共有を図る事が出来、支援に役立てる事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7	1	1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	8	0	1	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	7	1	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	7	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用時には、孤立しないように声掛けを行ったり、他利用者様との会話等を楽しんで過ごせる雰囲気作りに配慮している。また、ご家族から相談を受けた際には、介助の方法、ご家族の精神的な不安も含めて支援する事が出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人が必要としている支援については、認知症により、確認出来ない部分があり出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
引き続き、初期支援に関しては、事前に個別計画を作成して大まかな方向性を決めて置き、十分な観察を行い見直ししていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3 年 1 月 20 日 (15～16時)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	2人	1人	12人

前回の改善計画	ケアプランの見方や解釈について、職員会議で研修を行い、全員がケアプランを理解できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	新人の職員の入職もあったので、現職員を含め、もう一度ケアプランの見方をミーティング等で説明し所定の場所に置く事で、いつでも見やすい環境を整える事が出来たが、全職員が理解出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	9	2	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	2	1	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	3	1	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	2	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ケアマネが作成したケアプランに沿った支援が出来るように、その都度ミーティング等で説明・周知を行う事ができた。特に、新規受け入れ時には、丁寧に説明する事が出来た。
---------------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者個々のケアプランをなんとなくの把握になっている部分があり、ケアプランに沿ったサービスを行っていない点がある。
----------------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 引き続き、ケアプランの見方や解釈について、職員会議で研修を行い、全員がケアプランを理解できるようにする。
----------------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 1 月 20 日 (1 5 ~ 1 6 時)

3. 日常生活の支援

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	7 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	引き続き朝夕の申し送りで利用者様の変化の情報共有を行う。個別に会話する機会を作り日常の会話の中から変化に気付けるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	コミュニケーションで得た情報を職員間で情報共有する事ができた。利用者様に対して傾聴する職員の姿が多く見られた。また、新規の利用者様も増えたので、職員それぞれが意識して行う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	9	2	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	7	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	7	0	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	7	1	1	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	6	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること コミュニケーションで得た利用者様一人一人の情報を共有し、支援につなげる事ができた。また、得た情報を職員間で共有する事で、より良い支援につなげる事が出来た。
---------------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者様の気持ちを最優先せず、業務優先で毎日の生活が送られてしまっている事があった。また、利用者の些細な変化 (気持ち・体調等) の気づきや理解が職員によってばらつきがある。
----------------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 引き続き朝夕の申し送りで利用者様の変化の情報共有を行う。個別に会話する機会を作り日常の会話の中から変化に気付けるようにする。
----------------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 1 月 20 日 (15～16時)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	4人	1人	12人

前回の改善計画
地域の方と連携を取りながら住み慣れた環境を壊さない支援をする。

前回の改善計画に対する取組み結果
環境をなるべく変えず、穏やかな気持ちで生活できるよう配慮する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	4	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	4	2	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	6	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	5	3	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
引き続き、買い物支援などは、利用者様馴染みの地域のスーパー等で買い物を行っている。また、連絡帳を通して、家族と情報共有に役立っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新型コロナウイルス感染症の影響から、制限される事も多くあり、地域と関わる機会が減ってしまった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
引き続き、地域の方と連携を取りながら住み慣れた環境を壊さない支援をする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3 年 1 月 20 日 (15～16 時)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	3 人	1 人	12 人

前回の改善計画
小規模の場合、地域資源を取り入れた支援は困難な部分もあるが、利用者様の生活環境や家族の希望を聞きながら柔軟な支援を提供する。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者様だけでなくご家族との関わりを大切に、相談しやすい関係性を作る事が出来、それに対して職員間で話し合いを行い、必要な支援内容を検討しながら支援を行う事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	5	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	4	4	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	5	3	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	6	3	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎時間・訪問・宿泊・通い等要望に応じて柔軟に対応している。また、事業所の都合で支援内容を組むのではなく、ご本人やご家族の意向を確認しながら、必要な量や内容を提供する事が出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新型コロナウイルス感染症のため、色々な事に制限が出てしまっているため、地域資源の活用は出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
小規模の場合、地域資源を取り入れた支援は困難な部分もあるが、利用者様の生活環境や家族の希望を聞きながら、引き続き、できる限り必要な支援を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3 年 1 月 20 日 (15～16時)
6. 連携・協働	メンバー	管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	2人	8人	12人

前回の改善計画	新型コロナウイルスが落ち着き次第、積極的にボランティアを受け入れ、地域との連携を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルス感染症の影響から、ボランティアの受け入れを行っていないが、介護相談員さんとの月一回の電話のやり取りの中で、事業所の様子を情報提供する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	0	2	2	8	12
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	2	8	12
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	0	1	2	9	12
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	2	9	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 電話で介護相談員さんと話しをする事で、事業所の情報提供を行う事ができた。
---------------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 新型コロナウイルス感染症の影響から、ボランティア等の受け入れが出来ていない。
----------------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新型コロナウイルス感染症が落ち着き次第、積極的にボランティア等を受け入れ、地域連携を図り、利用者様にも楽しみの場を提供出来るようにしていく。
----------------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 1 月 20 日 (1 5 ~ 1 6 時)

7. 運営

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	1 人	4 人	12 人

前回の改善計画
職員に対して小規模多機能の利用の仕方や運営基準を教育する必要がある。

前回の改善計画に対する取組み結果
その都度、懸案事項が出た際に、職員同士で話し合い、小規模多機能の施設としての役割や在り方について、説明する事ができた。しかし、職員の入職等で説明に機会が抜けてしまっている時があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	5	2	3	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	9	0	3	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	1	5	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	1	7	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
気付いた点があれば、職員間で情報共有し、話し合いを行い改善策を見出している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員によって、小規模多機能の本来あるべき姿や利用の仕方を理解できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
引き続き、職員に対して小規模多機能の利用の仕方や運営基準を教育する必要がある。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 1 月 20 日 (1 5 ~ 1 6 時)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	5 人	5 人	12 人

前回の改善計画
出来るだけ多くの研修に参加させることが出来るよう職員配置を考える。また研修に行った職員が荘内で研修を行えるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
新型コロナウイルスの影響で外部研修の参加に参加する事は出来なかった。内部研修に関しても、密になる事を考慮し行う事が出来なかったが、少人数がオンラインによる研修に参加する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	2	6	3	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	4	5	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	8	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	3	4	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新型コロナウイルス感染症の影響から、外部研修は開催されていないが、オンラインでの研修に参加する事が出来た。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新型コロナウイルス感染症の影響から、外部研修は開催されず、参加の機会が減ってしまった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
出来るだけ多くの研修に参加させることが出来るよう職員配置を考える。また研修に行った職員が荘内で研修を行えるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 1 月 20 日 (1 5 ~ 1 6 時)

9. 人権・プライバシー

メンバー 管理者・ケアマネ・リーダー・サブリーダー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	3 人	1 人	12 人

前回の改善計画
身体拘束・虐待とは、どこまでなのかを職員全員が同じレベルで捉えることが出来るようにマニュアルなどを使った教育を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
新しく入職した職員に対しては、改めての説明が行えていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	3	1	0	12
②	虐待は行われていない	8	3	1	0	12
③	プライバシーが守られている	8	3	1	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	3	1	3	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	4	2	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人が嫌な思いをする場面や排泄、入浴の時には、本人のプライバシーを配慮した声掛けや支援を行っている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	職員の無意識な言動等が利用者様の言動等を傷つけてしまっているかもしれない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	引き続き、身体拘束・虐待とは、どこまでなのかを職員全員が同じレベルで捉えることが出来るようにマニュアルなどを使った教育を行っていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 清幸会	代表者	池田香織	法人・ 事業所 の特徴	さくら荘は民家改修型で、家庭的な雰囲気の施設です。自宅にいるのと変わらない落ち着いた着ける場所を提供し、快適に過ごして頂ける支援を重視しています。 清幸会の使命である「介護を求める、多くの人達を援助する」を日々努力しております。
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 さくら荘	管理者	村山和恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者に変化がある度に個別介護計画の見直しを行い、ミーティングの中で周知することにより常に最新の情報でケアにあたる。	利用者の変化を常に把握し、職員間で共有する事ができた。そこで得た情報を元に、その都度個別介護計画の見直しを行いケアに繋げる事ができた。	・職員の教育や研修計画については、研修を「〇回実施する。」など、数値目標を設定してもよいかと思う。	引き続き、ミーティングの中で個別介護計画の見直しをした所を職員全員で周知する事により最新の情報でケアに当たる。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き防寒対策とプライバシー確保に努める。北向きに廊下は暖房器具を設置する等、温度差に配慮する。例年通り、畑や花壇の整備を行う。	廊下に新しくエアコンを設置し、快適な環境を提供する事ができた。地域住民の鉢植えの寄付により利用者様に季節を感じて頂く事ができた。トイレ内に24時間センサーの暖房機を設置した。	・コロナウイルス感染症の影響により施設見学がないが、報告等の写真を見る限り環境は良いと思う。 ・住みやすい環境に取り組んでくれていると思う。 ・写真付きの行事報告からは利用者の楽し気な様子が見られ、事業所の雰囲気の良さを感じる。	引き続き防寒対策やプライバシーの確保に努める。北向きの廊下は暖房器具を設置するなど温度差に配慮する。例年通り、畑や花壇の整備を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き隣接する黒磯公園の散策やイベントの参加を行い、地域資源を絶たない様に支援を行う。	コロナウイルス感染症の影響により、地域と関わりを持つ事が難しい状況ではあったが、地域の方に鉢植えを提供して頂き屋外で一緒に楽しむ事ができた。	・報告頂いている利用実績から空きがなく、利用率が高い事が分かります。事業所の存在が地域に広く認知されていると思う。 ・コロナウイルス感染症の影響により今は困難だが、可能な限り関わりに取り組んでいると思われる。	引き続き隣接する黒磯公園の散策やイベントの参加を行い、地域資源を絶たない様に支援を行う。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>支援の時間に縛りがない小規模の特徴を生かして、柔軟な対応で利用者の生活を支えていく。その為に地域住民と施設間で情報共有と連絡体制を整える。</p>	<p>利用者一人一人の状況を把握し、それぞれどんなサービスが必要かを考え、調整し、提供する事ができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策で地域行事の参加は難しいと思われるが、利用日に関係なく居場所を把握している。 ・新型コロナウイルスの影響で、外部での活動が制限されていると思うが、オンラインの活用や書面によるやり取り等、工夫して外部とのつながりの機会を設けて頂ければと思う。 ・それぞれに合ったサービスの提供が出来ていると思うので、今後も独居の方が安心して生活を送る事が出来るよう支援して行ってほしい。 	<p>引き続き支援の時間に縛りがない小規模の特徴を生かして、柔軟な対応で利用者の生活を支えていく。その為に地域住民と施設間で情報共有と連絡体制を整える。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>引き続き、運営推進会議の中で得た地域の問題や情報に関しては、地域包括支援センターと連絡を取り支援に繋げていけるように検討を行う。</p>	<p>昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、書面での開催となったが、書面を通して連携を図る事ができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護認定前の段階から相談に乗って頂いた。早い対応助かる。 ・地域の方の情報も頂き早期の実態把握に繋がっている。 ・地域包括支援センターから、地域の中で心配な方の報告や相談を受ける事はあるか。 ・書面での開催が続いてしまっている状況の中だが、写真や報告書を通じて、全てとはいかないが、事業所の様子を把握する事が出来た。 	<p>引き続き、運営推進会議の中で得た地域の問題や情報に関しては、地域包括支援センターと連絡を取り支援に繋げていけるように検討を行う。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>引き続き、地域の防災計画に組み込んで頂き、火災防災時の避難訓練や避難経路のマップを作成して避難所までの避難訓練を行う。</p>	<p>避難訓練や通報訓練を行い、いざという時にどういう行動をすべきか、確認する事ができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書やマップを直接見る機会がない。分かる形で周知して頂きたい。 ・避難訓練の実施の際に、自治会と連携を図っているか。 ・今後起こるかもしれない巨大地震などの自然災害を想定した訓練が必要と感じる。 	<p>引き続き、地域の防災計画に組み込んで頂き、火災防災時の避難訓練や避難経路のマップを作成して避難所までの避難訓練を行う。</p>